

新春





新年にたいして

川越市長 舟橋功一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい平成十一年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

曰ころ、市政各般にわたり温かいご支援とご協力を賜っておりますことに、心より厚くお礼を申し上げます。

とりわけ、昨年夏の台風等によりもたらされた水害にあたっては、被災されました皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、多くの皆様からの心温まるご尽力と善意の義援金をいただきましたことに対して、心から感謝を申し上げます。

私は、集中豪雨による再度の被災を何としても防ぐため、すぐさま埼玉県知事や建設大臣に会って要望を行い、その結果、約六キロメートルにわたる新河岸川河道整備等を内容とする「河川激甚災害対策特別緊急事業」の採択を受け、早速、平成十年度から整備が行われることとなりました。今後も、今回の集中豪雨による被災の経験を生かし、総合的な対策を講じてまいります。

なお、昨年、市職員が起こしました不祥事につきましては、監督者として深くおわび申し上げます。

さて、昨年は、冬季オリンピック長野大会で幕を開けた一年でありましたが、期待されていたほどには景気は回復せず、長引く景気の低迷は、市民の皆様にも深刻な影響を及ぼしております。このようなことから、昨年、私は、厳しい経済情勢下にある中小企業者

の皆様を対象に、急ぎよ、中小企業経営安定化資金融資制度を新設し、約二十三億円の緊急融資を実施いたしました。本年も、都市計画税の負担の軽減措置の継続など、地域産業の一刻も早い景気回復と地域経済の活性化を図るための諸施策を積極的に展開してまいります。

私は、就任して以来、一貫して清潔・公正・公平を市政運営の基本理念に、クリーンで信頼される市政、また、市の主人公である市民の皆様との対話の市政、すなわち「開かれた市政」の実現に向けて懸命に努力をしております。

具体的には、私みずから市民の皆様と直接対話する市政懇談会の実施や市政に関するご意見ご提言を拝聴するための目安箱の設置を行ってまいりました。これらによりいただいたご要望やご提言等は、できるだけ速やかに検討し、その後の施策や新たな政策の立案に反映できるよう努めてまいります。

加えて昨年は、皆様からより多くのご意見やご提言をいただけるよう「市政への提案」専用ファックスを設置いたしましたので、ぜひご利用いただき、皆様の多くの声をお聞かせいただきたいと思います。

現在、地球環境の保全が世界的な課題となっておりますが、私はかねてより、「原発が最小限ですむように」との主旨から、市の公共施設において、「パーセント節電運動」を推進してまいりました。この運動により、昨年十一月末までに節約した電気料金が約一億四千七百五十万円という効

果を上げることができました。

また、地球温暖化防止策として、平成九年度から開始した住宅用太陽光発電システムへの助成制度は、市民の皆様からたいへんご好評をいただき、すでに三十件、百キロワットを超えるシステムへの助成を行うことができました。本年も、引き続き、太陽光発電システムへの助成を行うとともに、あわせて市の公共施設への導入を積極的に推進してまいります。

昨年七月、私は、地域社会での環境問題に強い関心を持つて先進的な取り組みを行っている全国二十二の自治体の首長が一堂に会し、「百の議論より一つの行動」を起こす契機とするを目的とした「節電(省エネ)・新エネルギー自治体サミット」を主催いたしました。

当日は、多くの自治体、市民団体、関連企業等から六百三十人もの皆様が集まり、事例発表や意見交換などを行い、「クールエナジー宣言」の決意表明をもって、盛会のうちに幕を閉じることができました。本年も、市民の皆様のご協力を賜り、さらにパーセント節電運動を推進し、健康で快適な生活環境のまちを目指してまいります。

さて、本市では、市民の皆様と行政とが一体となり、計画的なまちづくりを推進していくための共通の指針として定めた第二次川越市総合計画が、本年で四年目を迎えます。本年も、総合計画に掲げる次の七つの柱に沿った施策を積極的に推進してまいります。



昨年7月の「節電(省エネ)・新エネルギー自治体サミット」(やまぶき会館)

一人ひとりが、住み慣れた地域で健康と生きがいを感じながら、安心して暮らせるまち

市民一人ひとりの健康状態の保持増進を図るため、建設を進めてまいりました川越市総合保健センターが、本年四月にオープンする運びとなりました。当センターでは、健康相談、保健指導および健康診査ならびに機能

訓練等、健康づくりのための事業を実施します。

また、保健・医療・福祉の総合的な相談に応じる総合相談窓口を設置します。

高齢者福祉につきましては、川越市老人保健福祉計画に基づく整備目標の達成に努めてまいりました。昨年は、特別養護老人ホームが三か所、老人保健施設が二か所開設されました。

また、介護の問題を社会全体で支える仕組みとして、介護保険制度が平成十二年四月に施行されることになり、本年十月から、どの程度の介護が必要かを認定する手続きが始まります。本市の介護保険制度が円滑に始動できますよう最大の努力を払ってまいりますので、市民の皆様におかれましても、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

障害者福祉につきましては、障害者保健福祉分野における具体的な目標を盛り込む川越市障害者計画の策定に向け、川越市障害者計画策定委員会を設置し、ご検討をいただいております。本年も当該計画の策定に向け努力してまいります。

また、少子化が進む中、子育て支援策も大切な課題であります。現在、脇田新町保育園の改築を進めており、本年四月には新しい園舎で定員二十名を増やし、新たに0歳児保育、一時保育を加えた保育を実施します。今後、子育てのしやすい環境の整備に努めてまいります。

個性を生かす教育と、地域の伝統を受け継ぎ、新しい文化を創造するまち

本格的な情報化社会の到来を見据え、将来を担う小・中学校の児童生徒のインターネット等の情報活用能力の向上を図るため、本年は、その環境づくりを推進してまいります。

また、既存校の老朽化と住宅団地の児童の増加に対応するため、伊勢原町内に、地域住民の日常生活圏における生涯学習活動を支援する機能を兼ねた小学校施設を建設してまいります。

現在、市民の皆様が生涯にわたる学習活動を支援するため、生涯学習基本構想・基本計画を策定しておりますが、今後は、この計画に基づく生涯



4月オープン予定の川越市総合保健センター

学習諸施策の推進に努めてまいります。
また、市民の皆様が生涯にわたってスポーツに親しめるよう、引き続き、生涯スポーツ振興計画の策定を推進してまいります。

さらに、地域における国際交流等を、新しい枠組みの中で総合的に推進していくため、国際化推進基本計画を策定してまいります。

美術館の建設につきましては、具体的な美術館の導入機能や規模の検討を進めるため、昨年、川越市美術館建設委員会を設置いたしました。

また、川越の歴史的景観を代表する貴重な蔵造りの町並みを保存し、歴史と文化を後世に伝えるため、市民の皆様のご協力をいただきながら、伝統的建造物群保存地区の指定を目指しておりますが、ぜひとも本年中には実現してまいりたいと考えております。

人と環境にやさしく、都市基盤の整ったうるおいのあるまち

市の将来のあるべき姿とその目標を明らかにし、あわせて将来の都市づくりの総合的な指針とするため、引き続き、地域の皆様と共に都市計画マスタープランの策定を進めてまいります。

また、電線類地中化により高齢者や障害者に配慮し、人と環境にやさしい道路整備として進めてまいりました本川越駅前通線の拡幅整備を早期に完成させるとともに、博物館前の三田城下橋線、市内循環線(通称アカシア通り)についても、その整備を推進してまいります。

市内循環バス「川越シャトル」につきましては、昨年は、西コースおよび南コースの延伸を図り、新たな路線を増設いたしました。

今後も引き続き、地域の皆様の足として、さらに充実を図ってまいりますので、ぜひとも多くの皆様のご利用をお願いいたします。



整備が進む本川越駅前通線

目指してまいります。

自然と社会の調和のとれた、快適で安全に暮らせるまち

昨年三月、本市の環境に関する諸施策を総合的かつ計画的に推進していくため、具体的な数値目標を掲げた環境基本計画を策定いたしました。今後は、この計画に基づいて実施された施策の具体的な成果を毎年度、「かわごえ環境白書」として公表してまいります。

災害対策につきましては、地域防災計画の見直しの作業が、本年三月には完了する見込みとなりました。また、市民の皆様のお力添えにより、多くの自主防災組織を結成していただいておりますが、本年も引き続き、その促進に努めてまいります。

(仮称)新清掃センターの建設につきましては、建設の時期を順延し、この間に、地域に及ぼす影響について「生活環境影響調査」を実施するとともに、施設の規模や処理方法等について、さらに慎重な検討を行ってまいります。

また、新たな施設が整備されるまでの間の東・西清掃センターにおけるダイオキシン対策については、必要な整備を行う等、万全の対応を図ってまいりたいと考えております。

思いやりとふれ合いのある、心豊かな平和なまち

都市化による住宅事情や生活様式の変化に伴い、自宅で葬儀を行うことがたいへん困難な状況にあります。このことから、現在、市民の皆様からご要望の強い(仮称)葬祭会館の整備を進めており、平成十一年度中の完成に向け、事業を推進してまいります。

女性政策につきましては、昨年四月、川越市女性団体連絡協議会が発足し、女性の地位向上に向けたさまざまな活動が展開されております。

本年は、女性問題の解決に向け



来年度中の完成を目指して建設が進む(仮称)葬祭会館完成予想図

いたします。

皆様からご要望の多い公園整備につきましては、昨年、岸町健康ふれあい広場を整備し、オープン以来幅広い年齢層の方々からご好評をいただいておりますが、本年は、鯨井地内に、雑木林と、隣接する小畔川とを一体化した自然を生かした公園の整備を進めていくほか、緑の基本計画に沿って、鋭意、その整備に努めてまいります。

道路整備につきましては、昨年から、交通渋滞地での交通安全の確保と渋滞の解消の視点から「ゆずりあい道路」の整備を進めておりますが、本年は、住宅地への通過交通を抑え、地区内の暮らしの安全を確保するため、高階地区において「コミュニティゾーン」形成事業に着手いたします。

また、川越駅西口等の区画整理事業、本川越駅等の駅周辺地区の基盤整備事業につきましても、引き続きその推進に努めてまいります。

新しい産業をめざす、活力ある豊かなまち

現在、全国の多くの都市において、モータリゼーションの進展や郊外型店舗の出店などにより、かつての中心市街地に空洞化現象が起きております。このようなことから、昨年、本市では中心市街地における商業の活性化と、あわせて都市基盤整備の推進を目指した活性化基本計画を策定いたしました。

本年は、市の観光資源をPRし、また訪れる観光客の利便を図るための観光サインの整備を図るほか、活性化基本計画に沿った各種の商業振興策を展開してまいりたいと考えております。

農業集落排水事業につきましては、平成十三年度の工事着工に向け、本年は事業計画の作成等を実施し、地区内の公共用水域の水質の保全と農村の生活環境の改善を目指してまいります。

本年も、景気や経済情勢を見極めながら、緊急融資をはじめとする各種融資制度の充実を図るとともに、「産業振興ビジョン」の策定を通して、商業、工業、観光等の調和のとれた地域産業の発展と豊かな川越の実現を

た諸施策を総合的に進めていくため、(仮称)第二次川越市女性計画の策定を進めてまいります。

計画的で市民に開かれた市政を進めるまち

私は、かねてから行政改革を市政の最重要課題ととらえ、さまざまな取り組みを実施してまいりました。

特に、昨年は、地方分権社会を見据え、

また複雑多様化する皆様のニーズに的確にこたえていくため、より効率的な組織を目指した大幅な組織改正を実施し、本年四月より新組織での市政運営を行ってまいります。本年も、川越市行政改革大綱に基づき、簡素で効率的な行政運営を目指し、積極的な取り組みを推進してまいります。

また、老朽化が著しい霞ヶ関北出張所の整備に着手するとともに、高階地区における出張所など公共施設のあり方についても、引き続き検討してまいります。

広域行政につきましては、レインボー協議会を構成する四市三町との間で、昨年、災害時における相互応援に関する協定を締結いたしました。すでに実施しております図書館の相互利用、圏域内情報の広報紙への相互掲載などを通して、今後もさらに幅広い広域的な諸施策を展開してまいりたいと考えております。

本年も「福祉充実 住みよい環境 歴史生かした(産業の)活性化」を市政運営の視座として、「住んでよかった、住みつづけたい」と思えるまちの実現に向け、市民の皆様が立場に立った、皆様の手の届く市政の運営に全力を尽くしてまいりますので、なおいつそのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



4市3町で行っている広報紙の相互掲載「レインボーニュース」



昨年4月にオープンした岸町健康ふれあい広場

償却資産の申告と給与支払報告書の提出をお願いします

商店や工場などを経営している方は償却資産の申告を、給与支払時に所得税を源泉徴収している事業主は給与支払報告書の提出を、それぞれ二月一日(月)までにお願ひします。

償却資産の申告
個人や法人で、事業をされている方は、平成十一年度の償却資産の申告をお願いします。

償却資産とは、事業のために用いる機械、器具、備品などの事業用資産(土地、家屋、借入れ資産を除く)のことで、固定資産税の対象になります。このような資産を持つ方は、毎年一月一日現在の所有状況について、その種類・

名称・取得年月・取得価額・耐用年数などを、その資産の所在する市町村に申告する必要があります。

また、申告書の代わりにハガキが届いた方で、平成十年中に資産が増加、または減少した場合にも、申告が必要になりますので、ご連絡ください。

提出：2月1日(月)までに資産税課
問い合わせ：資産税課管理係 ☎内線2351

給与支払報告書
給与支払時に所得税を源泉徴収している事業主は、給与支払報告書を提出することになっていきます。

報告書には、昨年一年間に支払

った「給与」「賞与」など、すべての給与支払金額を記入してください。

提出は、従業員の方が平成十一年一月一日現在、住んでいたそれぞれの市区町村長あてです。

なお、昨年中に中途退職された方についても同様に提出をお願いします。

事業所で支払われる給与所得のほかに所得がない従業員の方は、この報告書が事業所から提出されたことよって、市・県民税の申告を済ませたこととなります。

提出：2月1日(月)までに市民税課
問い合わせ：市民税課市民税第二係 ☎内線2339

入札参加業者の登録を受け付けます



平成十一・同十二年度に市が発注する工事または製造の請負、物品の購入等の入札参加業者の登録を受け付けます。提出書類は、契約課で配布しています。

受付期間：2月10日(水)～3月1日(月) (土・日曜日および祝日を除く)

受付時間：午前9時～11時30分、午後1時～4時

会場：市役所三階3A会議室

注意事項
建設工事等の審査基準日は、平

成十年八月一日直前の営業年度の終了日(決算日)です。その他については、平成十一年一月一日です。

また、建設工事について登録をしようとする場合は、平成十年七月一日から施行されている新しい審査基準による経営事項審査結果通知書が必要です。

問い合わせ：契約課工事契約係 ☎内線2261

第5回介護保険事業計画策定等委員会開催

介護保険制度の実施に向け、第五回川越市介護保険事業計画策定等委員会が昨年十二月二十四日に開催されました。

委員会では、特別養護老人ホーム等の視察とその際に行った介護に携わる現場の職員等の声を聴く会(九月、十月実施)、介護保険シンポジウム(十一月七日)、高齢者介護サービス体制整備支援事業(十月～十一月実施)、要援護

高齢者等実態調査(八月、十月、十一月実施)等について事務局から報告があり議論されました。

第六回委員会は、一月下旬に開催を予定しています。

なお、会議の傍聴を希望する場合は、当日、委員会の許可が必要になります。

問い合わせ：介護保険準備室 ☎内線2581

助役等特別職の選任と人事異動

平成十年十二月定例市議会の同意を得て、助役、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員が選任されました。

助役(再任) 平成十年12月26日付け
藤田信明 元町一丁目八一七

助役(新任) 平成十年12月24日付け
市長公室長事務取扱
初野敬彦 笠幡二〇九二一八

教育委員会委員 平成十年12月28日付け
齊藤信子 安比奈新田二五八一六

固定資産評価審査委員会委員 平成十年12月28日付け
小川芳雄 的場一二二一一

人事異動(退職) 平成十年12月23日付け
初野敬彦(市長公室長)

K2講演会 入場無料

日時…2月17日(水)、午後2時～3時30分
会場…川越プリンスホテル 3階プリンスホール

「篤信彦が語る
これから10年の生き方 人と企業と地域」

講師プロフィール

昭和17年5月5日中国南京生まれ。東京都出身。慶応義塾大学経済学部卒業後、毎日新聞社に入社し、経済部記者を経てワシントン特派員を務める。昭和62年フリー。現在、TBSテレビ「おはようクジラ」、TBSラジオ「朝のファンファーレ」等にレギュラー出演。著書は「メディア 影の権力者たち」(講談社)「これから10年の生き方」(ザ・アール)ほか多数。



K2協議会

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は、首都圏の交通事情の改善、主要機能の連携強化が図られると期待されている高規格幹線道路です。

K2協議会では、圏央道沿線7市3町(川越市、飯能市、狭山市、入間市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町)が圏央道建設に関し、各方面にPR等の活動を行っているほか、各地域の特性を踏まえて策定したK2プランの推進に努力しています。

K2…埼玉県圏央道沿線西部地域活性化計画推進協議会の略称で圏央道のKと活性化のKからつけています。

問い合わせ
K2協議会事務局・都市計画課新市街地推進担当 ☎内線3215

地域振興券の交付について

現在、市では、地域振興券の交付に向けて準備を進めています。交付の時期は、3月中旬ごろを予定しています。

地域振興券の交付対象者の要件や地域振興券を取り扱っていた店舗の募集など、詳しくは、1月25日発行の広報川越No.951でお知らせします。

問い合わせ…企画課政策担当 ☎内線2311

「川越市国際性のある人づくり、まちづくり基本計画案」にご意見をお寄せください。

市では、国際化推進のための新しい枠組みを明確にするために、「川越市国際性のある人づくり、まちづくり基本計画」の策定を進めています。このたび、市民の代表で構成する基本計画策定委員会(松本博一委員長)での協議を基に基本計画案を作成しました。

この基本計画案について、皆様のご意見をお寄せください。「川越市国際性のある人づくり、まちづくり基本計画案」は、市民文化課・生活情報センター・市民会館・メルト(西文化会館)・ジョイフル(南文化会館)・出張所・公民館・市立図書館に用意してありますので、ご覧ください。

申し込み方法…上記施設に用意してある所定の用紙を利用し、郵送またはファクスで送付(電子メールも可)

締め切り…2月10日(水)(必着)
提出先…〒350-8601川越市役所市民文化課市民文化係
FAX=24-6705
E-mail=kokusai@city.kawagoe.saitama.jp

問い合わせ…市民文化課市民文化係 ☎内線2413



昨年6月、泉小学校を訪ねたノースセラム高校の生徒たち

知って得する省エネコラム

VIII

E-life

一年の省エネは、ごとも正月にあり

資源対策課節電推進係内線2621



明けましておめでとーございます。このコラムも二度目のお正月を迎えました。二年の計は元日にあり。もうすでに省エネに取り組んでいるお宅も、まだのお宅も、地球と家計にやさしい省エネにチャレンジしてみませんか。



僕、フランクリン。ことしもよろしくね。一年の省エネは正月にあり。まずは、家族みんなで、省エネ度チェック。みかんでも食べながらついで。うさぎさんのようにぴよぴよと、

軽やかに省エネしましょ。参考資料：『省エネ家族奮闘記(財省エネルギーセンター)』 * E-lifeのEは、electrical(電気)・economic(経済的)・ecological(生態学)を表します。Eは「暮らし」の意味です。

Table with 5 columns: 項目 (Item), はい (Yes), とどき (Time), どちらでもない (Neither), 意識していない (Not conscious), いいえ (No). Rows list energy-saving tips like adjusting thermostat, covering hot water tank, etc.

あなたの省エネ行動は何点でしたか

Four categories of energy-saving scores with corresponding cat illustrations: ずばり省エネ派 (40~28 points), なかなか省エネ派 (27~18 points), まだまだ省エネ派 (17~9 points), ちっとも省エネ派 (8~40 points).

同和教育シリーズ 同和問題の現状と課題

このシリーズは、平成九年二月に宇都宮大学教育学部教授・横島章さんを招いて行った同和問題講演会の要旨を生徒学習課でまとめたものです。

同和問題の現状「心理的差別」

③ 隣近所との交際

隣近所との交際について考えてみます。調査のデータを紹介します。質問項目は「日ごろ、親しくつきあっている隣近所の人が、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか」というものです。それに対する回答は、①これまでと同じように親しくつきあう、②表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく、③つきあいは、やめてしまおう、④なんとかして、近所から出ていってもらうようにしむける、⑤自分の方が住居を変わる、⑥パーセント、ということになっています。親しくつきあうと回答し、こういうことについて、問題としないという人が圧倒的多数で、九割近くになっています。気になるのは、「できるだけつきあいは避けていく」という人がまだ一割もいることです。それでも前回の調査に比べて、「親しくつきあう」人が一割減も増え、「避けていく」人が一割減

みんなの作文



なかよし集会のゲーム

山田小学校四年

新井佑果

わたしたちは六ばんで、そがくん、小久保くん、遠どうさんと二年生の子が四人です。二年生の子たちが「かたてに行こうよ。」と言ったので、さいしよにプレイルームのかたてに行きました。わたしたちは、一人ができるだけいっぱいかんを立てて、それをあわせるという作戦です。みんなひっしでがんばりました。そして、作戦が成功したので、みんな「やったあ、できたあ。」とおおよろこびをしました。



最後にわたしたちが行ったのは、学校問題です。みんな学校

気楽木



アオキ

晩秋から早春まで、つややかな実が次々と赤く色づいて、冬の間私たちの目を楽しませてくれるアオキ。この名前は、若い木や枝が緑色をしていて、目を引くことからついたそうです。庭木として愛されている常緑低木で、葉に白い斑点のあるファイリアオキ、実が白いシロミアオキなど、さまざまな品種があります。

アオキといえば、子どものころ、この木の葉と実を使って「雪うさぎ」を作ったことを思い出します。雪で丸い体を作り、葉は耳に、真っ赤な実はもちろん目に。簡単でかわいいうさぎ作りは、冬の大好きな遊びでした。こんな思い出のせいでしょうか、アオキには雪が似合うような気がします。

平成十年年度川越市民文化祭短歌大会入選作品より

短歌

- List of short poems and their authors. Example: 戦死せる弟の一人子その篆書日展特選となりしを嬉し... 麻田本町 牛窪又一

もしもしコーナー

Q 成人の日は、なぜ祝日になったのですか。 A 昭和二十四年の一月十五日が、最初の成人の日です。現在の憲法が施行されてまもなくの昭和二十三年、国民の祝日に関する法律が施行されました。人間尊重と文化高揚という新しい考えから、大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い、励ます趣旨で制定された祝日です。



昔から子どもが大人として認められるための通過儀礼として、元服式などがありました。現在の成人式は昭和二十一年十一月二十二日に蔵町(現在の蔵市)で始まり、川越では、昭和二十三年に福原地区(現在の川越市福原地区)で始まったのが最初です。

空へ地球を感じる時



1903年、アメリカのライト兄弟が初めて動力飛行に成功して以来、飛行機は速さと大量輸送を追求してきました。速さを求めて、プロペラ機からジェット機へ、そして輸送できる人員も増え、現代では550人乗りの旅客機も開発されています。一方で、グライダー・熱気球・パラグライダーなどがスポーツとして普及してきたことにより、大空を飛ぶ夢がかなうようになりました。

子どものころからの夢をウルトラ・ライト・プレーン（超軽量航空機）で果たした方が、川越にいます。鹿倉利一さん（64歳・旭町3丁目）を、飛行場に訪ねました。



飛んだっ！



いざ出発

夢が現実
退職を機に、夢を果たした鹿倉さん。子どものころから、鳥のように、自由に大空を飛んでみたいと思っていました。現在、毎週日曜日には、鴻巣市にある荒川河川敷の飛行場へ、愛機とともに出かけます。

魅力
ウルトラ・ライト・プレーンを知ったのは、定年退職から二年後の平成八年でした。自由な時間ができた鹿倉さんは、年々の友人から勧められると、すぐに講習を受け、同年十月に飛行認定証を取得しました。愛機は、風防が無い四百四十ccの一人乗りです。四百五十メートルの高さを、時速八十キロメートルを超えるスピードで、体に風を感じながら飛んでいます。「例えて言うなら、オートバイに乗ったときの感覚に近いのですが、高さの変化も加わり、三次元の動きをするのが楽しいですね。また、天気の良い日には、秩父の山々からサンシャイン60までを見渡せる、雄大な眺めを味わうことができます」。

実は
三十三年ほど前に、鹿倉さんは軽飛行機の免許を取ろうと講習を受けていました。しかし、妻の桂子さんから「子どもがまだ小さいので危ないことはやめてほしい」と言われ、断念しました。そして、空を飛ぶ夢を忘れないように、ラジオコントロールの模型飛行機作りを始めました。再び、空を飛ぼうとする鹿倉さんに、「今でも、心配ですから賛成はしていません。でも、退職した後は、好きなことをしてもらいたいとも思っています」と桂子さん。

そして
今もなお、模型飛行機作りも続け、毎週土曜日には川島町に行き、模型を飛ばしています。これらの趣味を通して同年代だけではなく、若い人たちとの交流もできました。彼らから聞いて、インターネット等、パーソナルコンピュータの活用にも興味を持つ鹿倉さんです。



飛行を終えたと喜ぶ鹿倉さん
プロペラは木製です
組み立ては慎重に
当口は最高の飛行日和
離陸直前の表情
部品が揃っても、足りなくても同様に
信頼できるエンジン

はーとぶる



重度の障害を持つ人も楽しめる ポッチャにチャレンジ

パラリンピックの種目にもなっているポッチャは、カーリング競技に似たスポーツです。赤と青、二つのチームに別れ、目標となる白球を目標、それぞれチームの色球を投げます。どれだけ近くに球を止めることができるかで得点を競います。

十一月二十二日、総合福祉センター・オアシスで行われたポッチャに関する講演と実技デモンストラーションには、障害者を含め、六十人近い方が参加しました。

ポッチャの魅力は、競技スポーツとしてだけでなく、レクリエーションスポーツとしても楽しめることです。重度障害者でも、補助具を使用することで、健常者と同じようにプレーができます。

ポッチャの普及は、障害者の社会参加の場を増やすだけでなく、より豊かな生活を送ることにつながるのではないのでしょうか。



ポッチャに使用される補助具

まちのできごと 109パレット

川越市の面積は109.16km²

巡視船で環境保全教室

11月14日、市内で活動する子どもエコクラブのメンバー30人が海上保安庁の巡視船に乗り込み、海の環境や水質について考える海洋環境保全教室に参加。第三管区海上保安本部（横浜市）近海と東京湾を航海しました。海を守る役割について学んだ子どもたち。船酔いにもめげず、充実した時間を過ごしました。



巡視船の説明を聞くエコクラブのメンバー

ミュージアムコンサート

12月6日、市立博物館で、尺八奏者によるミュージアムコンサートが開催されました。首振り3年などと言われる尺八。横振りはビブラートを効かせるときに、縦振りは音程を変えるときに使われる奏法です。コンサートでは、尺八のために作られた曲のほか、通りゃんせ、かもめかもめなど、わらべ歌の演奏もありました。



元五輪監督から実技指導

元アトランタ五輪全日本女子柔道総監督の野瀬清喜さんを講師に招いて、12月13日、武道館で第6回柔道実技講習会が行われました。柔道を学ぶ小学生から高校生まで、約100人が参加。改正されたルール説明のほか、相手との組み方や技をかけるときの重心移動のしかたなど、高いレベルでの技術指導が行われました。



マイクを持ち熱のこもった技術指導を行う野瀬さん

旅の空から

わたしの旅日記 152

エジプトの旅

岡田あや子（60歳・古谷本郷）



娘が突然仕事を辞め、エジプトに留学したいと言いました。私が同行することになりました。モスクワ経由でエジプト・カイロに着き、入学手続きの合間に娘と2人、太陽のキラキラする中をタクシー（ほとんどのタクシーには冷房が付いていない）で観光をしました。

まず、ギザの広大な砂漠をラクダに乗り、有名なスフィンクスやクフ王、カフラー王、メンカフラー王の3大ピラミッドへ。高さ146メートル、底辺230メートルもある大きなピラミッドを手で触れ、中に入って見学できたことは夢のようでした。カイロの博物館にあるミイラ保管室は、温度が一定に保たれており、ラムセス2世王ほか数多くのミイラが保管されていました。アザーンといわれるお祈りの音楽が1日に5回ぐらい流れ、町のあちこちでお祈りする姿が見られました。大きな遊覧船の浮かぶナイル川を現地の男の子の漕ぐ小さなボートに乗り、対岸のピアガーデンまで夕涼みにいったり、町のあちこちにある店で、マンゴーの生ジュースを満喫したりしました。

あっという間に18日間が過ぎ、淋しさと不安が残る中、娘をエジプトに残し帰路につきました。

イラストコーナー



吉田夏海（12歳・松江町二丁目）

だるま

フェルトペン画 岩崎喜裕
文 岩崎美喜代



家族そろって毎年、初もうでを兼ね、だるま市に参ります。今でも喜多院の境内を訪れるとオムツをつけて、よちよち歩きだったあなたが私の手を振り払い、転んでも、すぐに起きあがり一人で山を登ったり降りたりした幼いころを思い出します。七転び八起きのだるまは、いつも前を向いています。転んでも起きあがり、前向きに歩いてほしいことしもあなたの成長を祈ります。

TV わが街川越 番組ガイド

テレビ埼玉 (38ch) 新春に語る'99

1月16日(土)/午前10時20分~10時30分
1月17日(日)/午後 5時50分~ 6時00分

川越ケーブルテレビ (15ch)

1月17日(日)まで・新春に語る'99/1月18日(月)から・川越景観百選
月~木曜日/午前9時45分~・午後0時45分~・午後6時45分~・午後9時30分~
金曜日 /午前9時45分~・午後0時45分~・午後6時45分~・午後9時45分~
土・日曜日/午前9時45分~・午後4時00分~・午後6時45分~・午後9時45分~



新春に語る'99

環境にやさしいまちづくりの推進、市民の健康を守る事業の拡充、産業を活性化させる取り組みなどが進められている川越市。21世紀を展望した、魅力あふれるまちづくりを目指し、舟橋功一市長が新年の抱負を語ります。



川越景観百選

優れた景観を守り、育て、まちづくりに役立てようと平成5年3月に川越景観百選が決定されました。伝統行事、自然、風景など、川越市内各地の魅力あふれる景観を紹介します。
●平成5年度制作・再放送

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

どんぐり

編集日記

新年、明けましておめでとうございます▶「億円・兆円」という単位がニュースで飛び交う半面、厳しい家計の事情は相変わらずの印象。お年玉が、いつもより少なく、不況を実感したお年玉さんがいるかもしれません▶国の緊急経済対策の1つとしてスタートする「地域振興券」は、一定の条件に該当する方に地域内で利用できる「商品券」を交付する事業。個人消費を喚起し、地元商店での買い物により、地域経済の活性化を図ろうとするものです▶15歳以下の方には年度末の「お年玉」？ 未来を支える子どもの夢が景気回復のきっかけ……▶ことしも広報川越をよろしく願います。

表紙写真：初大師だるま市(喜多院)

